

平成28年6月吉日  
NPO 法人 大阪北港ヨットクラブ

無寄港 5,500 海里、世界唯一の“乗員わずか 2 名で太平洋を縦断する”外洋ヨットレース  
**メルボルン大阪ダブルハンドヨットレース、2018 年 3 月開催決定！！**

「2018 メルボルン大阪ダブルハンドヨットレース組織委員会」は、次回の第 8 回大会を、大阪市とメルボルン市が姉妹都市提携 40 周年を迎える 2018 年 3 月 18 日から開催することを発表致しました。**ただいま日本からのレース参加艇を大募集しています**（日本以外の地域を母港とするヨットのエントリーは、上限の 30 艇に達しましたので現在キャンセル待ちになっています）。**ぜひ貴媒体にてご紹介いただきますようお願い申し上げます。**

.\*. **レース概要** .\*.

「メルボルン大阪ダブルハンドヨットレース」は、オーストラリアのメルボルンから赤道を越え、日本の大阪までの約 5,500 海里(約 1 万キロメートル：地球 1/4 周)を無寄港で縦断する、世界で唯一の“ダブルハンド（乗員 2 名）による太平洋縦断外洋”ヨットレースです。

大阪港開港 120 年と大阪北港ヨットハーバー（現大阪北港マリーナ）のオープンを記念して 1987 年に第 1 回大会が大阪市主催で開催され、シーマンシップの育成、メルボルンと大阪の姉妹都市・姉妹港としての友好親善を目的に、前回の 2013 年を含めてこれまでに計 7 回の大会が開催されてきました。

大会は大阪市とメルボルン市のイニシアティブのもと開催されてきましたが、2011 年にはレース運営母体としてメルボルンに「メルボルン大阪ダブルハンドレース会社」を設立し、民営による大会運営を行っています。会社の設立メンバーは、サンドリングラムヨットクラブ（メルボルン市）、大阪北港ヨットクラブ（大阪市）、オーシャンレーシングクラブ・オブ・ビクトリア（メルボルン市）の 3 クラブで構成されています。



メルボルンの「サンドリングムヨットクラブ」は、スタート前のレース参加者に停泊場所やメンテナンス設備を提供し、レーススタートに関係するゲストをホストします。日本では「大阪北港ヨットクラブ」が、全ての参加者に対して伝説的な歓迎をし、暫しの休息や停泊場所等の必要な援助を提供します。ビクトリアの「オーシャン・レーシング・クラブ」はボランティアのネットワークを結束させ、レース全期間中、24 時間体制でレース運営とそのリスク管理を提供し、更には安全な帰路航海に必要なサポートを提供しています



## .\*.\*..\*.\*..\*.\*..\*.\*..\*.\*.レース内容.\*.\*..\*.\*..\*.\*..\*.\*.

このレースは複数の気象環境や季節変化が発生する南半球のメルボルンと、北半球の大阪市を結ぶ 5,500 海里を無寄港で縦断する壮大なレースです。

帆走環境が複雑に変化する長距離を、適切にヨットを操船する技術、最適な装備、2 人と言う少人数で帆走する技術、と言った真のシーマンシップが問われるレースです。開催時期は、南半球のサイクロンシーズンの終わる秋にメルボルンをスタートし、北半球では台風を避けて大阪にフィニッシュする様に時期設定しています。

最初の難関である風波厳しいオーストラリア・バス海峡を突破し、オーストラリア沿岸を離れた後は、ソロモン諸島、パプアニューギニアを通過し、赤道を越え、北に針路を向けます。そこでは、強烈な太陽が照り付け、あるいはまったく無風状態が続く熱帯の夏で困難に直面します。しかし、厳しい海域を乗り越えて、最後の行程である大阪でのフィニッシュラインで、日本の春を満喫することができるのです。

過去のレースレコードは 1995 年、26 日と 21 時間でフィニッシュした「ワイルド・シング」によって保持されています。



